

研究室へようこそ P4 理工学部 教授 大野 恭秀

最先端研究探訪 P5 歯学部 教授 栗尾 奈愛

魅力ある授業 P7 薬学部 教授 山田 健一

My Campus Life P8

大学院創成科学研究科 理工学専攻 博士前期課程 2年 西垣 佑哉

大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程 1年 岩本 緋天

サークル紹介 P9

水泳部 / バドミントン部 / 医歯薬硬式野球部 / 写真部

財務レポート P11

ガレリア新蔵 / 徳大ニュース P13

徳島大学基金 / 編集後記



皆さまには、平素から徳島大学の教育、研究、社会との共創活動に対しまして様々なご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

徳島大学は、未来を見据え、現在までに培ってきた知と人の財産を継承し、新しい時代と社会の課題に応える教育・研究の充実を図ってまいります。徳島大学が将来にわたり「人、地域をはぐくみ未来をつくる」活動を精進していくには、長期的に安定した財政基盤の強化、基金の充実が不可欠です。教職員はもとより、卒業生、学生のご家族をはじめ、個人、企業、団体などの皆さまにおかれましては、温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



基金プロジェクト
サイトはこちら

徳島大学基金の取組

① インスリン注射のない未来へ —1型糖尿病根治を目指す再生医療—

(大学クラウドファンディングサイト「Otsucle」にて
2025年7月15日から11月30日まで実施中)

徳島大学病院安全管理部の池本哲也教授がクラウドファンディングに挑戦しています。本プロジェクトでは、1型糖尿病という病気に「根治」という新しい選択肢を患者さんに届けることを目指しています。今必要となるのは、治療として多くの患者さんに届けるための体制づくりと実証です。いただいたご支援は、「1型糖尿病の根治を目指す治療法を、実際に患者さんに届ける」ために必要な、治験・製造・申請体制の整備に大切に活用させていただきます。皆さまと共に、患者さんとそのご家族が、インスリン注射に縛られずに生きられる社会を目指して、歩んでいけることを願っております。皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



詳細はこちら

② TOKUSHIMA UNIVERSITY GIVING CAMPAIGN 2025を開催します

(2025年10月10日から19日まで)

今年で4回目となる「TOKUSHIMA UNIVERSITY GIVING CAMPAIGN 2025」を10月10日から19日まで開催いたします。本イベントは、全国の国公立大学で一斉に開催され、学生団体の支援を目的とした大規模なオンラインチャリティイベントです。参加者は、特設サイトから学生団体を選んで応援票を投じるだけでなく、応援メッセージを送ったり、学生団体に寄付を行うことができます。参加する学生団体は、イベント期間中自らの活動についてSNS等で発信し、応援や寄付を募り、応援票に応じて支援金が分配される仕組みです。卒業生、本学関係者、地域の方など含めどなたでもご参加いただけます。ぜひ、本学学生団体への応援よろしく願いいたします。



詳細はこちら

ご寄付をいただいた皆さま (五十音順) 2025年4月から6月までの間に、徳島大学基金にご寄付いただいた皆さまのご芳名を紹介させていただきます。ご支援、誠にありがとうございました。

医療法人蒼会おくむらクリニック 様	青谷 政明 様	荒井 敏孝 様	岩下 哲也 様
奥 輝之 様	奥本 真一 様	片山 和久 様	河田 純 様
塩田 等 様	信川 美奈子 様	高尾 将二 様	田村 毅 様
濱 喜久 様	原田 耕自 様	医療法人福育会神田歯科医院 様	福家 貞二 様
堀口 華鼓 様	株式会社マル・インシュランス 様	山口 勝己 様	山田 高弘 様
横川 稔 様	吉田 静代 様		

徳島大学では、学生や研究者の活動が充実していくよう引き続き寄り添い支援していきます。今後も、徳島大学の取組および徳島大学基金の充実にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



徳島大学基金
寄付者のご紹介

【お問合せ先】徳島大学経営企画部 大学経営企画課 未来創造室 Tel：088-656-9979 E-Mail：dosokikink@tokushima-u.ac.jp

編集後記

総合科学部 教授 佐原 理

今号の特集テーマは「活躍する女性」と言えるでしょう。表紙では理系女子が集うJ-SWEETを取り上げました。こうした動きが社会で顕在化してきたことは喜ばしい一方、本来であれば、こうした特集や活動が特別に必要とされる社会であってはならないとも思うのです。「研究もキャリアもあきらめない!」という力強い言葉の裏には依然として厳しい現実が横たわっています。女性に限らず、外国人数員や留学生など多様な背景をもつ人々を含めた真のDEI(多様性・公平性・包括性)の推進は、徳島大学のみならず日本全体の喫緊の課題です。実際、日本はWEF「Global Gender Gap Report 2025」で148カ国中118位、G7で最下位という評価を受けています。私は耳にしています、「本当はこうしたい」と願いながらも社会や同調圧力に阻まれる声、「日本にどこ来なければよかった」と嘆いたその声を。どうか声をあげ、耳を傾け、あきらめないでください。徳島大学に関わるすべての人が笑顔で自己実現でき、国際的にも誇れる環境となることを、心から願っています。

徳大広報とtalk No.201をお読みいただきありがとうございます。

ご意見ご感想は下記にお寄せください。

発行：国立大学法人徳島大学法人運営部総務課広報室

〒770-8501 徳島市新蔵町2-24

Tel: 088-656-7646 E-mail: koho@tokushima-u.ac.jp

URL: https://www.tokushima-u.ac.jp/about/publicity/toku_talk

発行日：2025年10月 本誌は年4回(4月、7月、10月、1月)発行



アンケートは
こちら



とくtalk
バックナンバー



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C126198

特集 | 研究もキャリアもあきらめない!
理系女子が集まるJ-SWEETって? P1

研究もキャリアもあきらめない! 理系女子が集まるJ-SWEETって?

理工系次世代女性研究者チーム「J-SWEET」は、
理工系の学部生や博士前期・後期課程の学生で構成されたグループです。
リケジョ同士のネットワークを通じて進学や将来のキャリア形成を考えながら、
研究者の卵として自らの力を磨いています。

J-SWEETは

J.....Josanjima
S.....Science
W.....Women
E.....Encourage
E.....Engineering
T.....Technology

の頭文字をとったものです。

理工系女子をつなぐ場 「J-SWEET」誕生の背景

2020年、徳島大学AWA
サポートセンターの人材育成事業
の一環としてスタートした「J-SW
EET（ジェイスイート）」。
立ち上げ当初から関わっている
伊藤先生（J-SWEET理工学部担当）
は、発足の経緯を次のように話し
ます。

「電気電子システムコースの上
手洋子先生が発足時の担当を務
めたこともあり、初期メンバーは

理工学部の電気電子の学生が中心
でした。

私と上手先生、応用化学システ
ムコースの押村美幸先生の3人
は、2010年に徳島大学に着
任した同期。3人ともAWAサ
ポートセンターの部門員も務めて
いたこともあり、女子学生のネッ
トワーク構築の必要性やサポート
について、よく話し合っていまし
た」。

J-SWEET発足以前にも女子学
生向けの支援事業などは行われて
いましたが、単発で終わることが

多かったため、「継続的に活動で
きる仕組みを作りたい」という想
いがあつたと振り返ります。

現在、理工学部の女子学生の割
合は約14%。この数字を押し上
げているのは医光/医工融合プロ
グラムで、工学系コース（機械、
電気など）では依然として女子学
生が少ない状況だといいます。

女性技術者への需要高まる 変化する企業

ダイバーシティやジェンダー意



理工学部理工学科 3年 市川 歩実
大学院創成科学研究科 生物資源学専攻 博士前期課程 2年 島村 彩音
理工学部理工学科 2年 松浦 暖奈
理工学部理工学科 2年 川井 凜華
大学院創成科学研究科 理工学専攻 博士前期課程 2年 武本 結衣
理工学部理工学科 4年 山田 華央
理工学部理工学科 4年 須浪 千聡
生物資源産業学部生物資源産業学科 1年 山本 真綺



J-SWEETメンバーのインタビュー記事は
「とくだいウェブ」で順次公開します。

単結晶グラフェンを歩留まり100%で作製し それを用いたデバイスへの応用研究も

理工学部 教授 **大野 恭秀**（おおの やすひで） **研究室**



炭素原子が蜂の巣のような六角形格子に並び、わずか原子1層分の厚さしかない「グラフェン」。

世界最薄の素材であるグラフェンは、高い電気伝導性と強靱さを併せ持ち、次世代デバイスへの応用が期待されています。

大野先生の研究室では日本で最初にグラフェン研究を始めた永瀬雅夫先生の研究を継承し、「単結晶グラフェン」の作製とそれを用いたデバイスへの応用研究を行っています。

この研究室の強みは「単結晶グラフェン」を高い歩留まりで作り出す技術にあります。パワー半導体として知られるSiC（シリコンカーバイド）基板を1700℃前後で加熱し、シリコンを飛ばして残った炭素からグラフェンを形成する「エピタキシャル成長法」を用いることで、1cm角の単結晶グラフェンを、ほぼ100%の確率で作製できるという大野先生。この大きさと品質の単結晶グラフェンを安定的に作製できる研究室は世界的にみても珍しいといえます。

グラフェンの特徴は「表面しかない」こと。厚みがゼロに等しいため、表面に物質が付着すると電気特性が直ちに変化します。この性質を利用し、センサー応用に力を入れています。

中でも注力しているのがバイオセンサーの開発です。血液、唾液、尿、涙液といった体液に含まれる病気のマーカーを検出するデバイスの開発を進め、医学系や生物工学系の研究者と連携した取組を行っています。

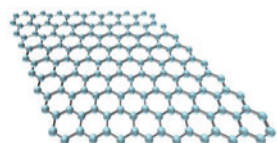
また、グラフェンは水に触れると発電するという現象も知られており、この仕組みを単結晶グラフェンで検証する研究も行っています。

その他、透明電極としての利用や次世代の集積回路材料としての可能性も視野に入れた研究も進んでいて、在籍する約20名の学生はそれぞれのテーマに取り組んでいます。

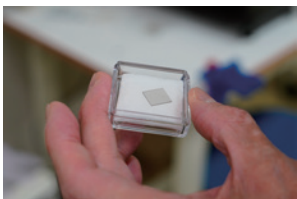
学会への参加なども積極的に行っていますが、研究室の方針として在学中に論文執筆を強く奨励している大野先生。「自らの研究成果を論理的にまとめることは、将来のキャリアにとって大きな財産になります。‘まとめる力’はエンジニアにとって求められる必要な能力。社会に出てからの信頼につながります」。

電気電子工学科(現：電気電子システムコース)の学生が出している論文の多くは大野先生の研究室の学生が書いたもので、卒業後も企業や研究機関で活躍を続けています。

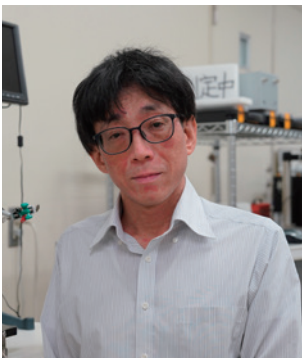
グラフェンの研究を通じて最先端の知識を深めながら、自分の考えをまとめる力を養い、磨く研究室のメンバー。こうした経験は将来のキャリアの基礎となり、次のステップへとつながっています。



グラフェンは炭素原子が平面上で六角形格子状に並んだ構造（ハニカム構造）をしており、厚さは炭素原子1つ分（0.335nm）。



1cm角の単結晶グラフェンを作る基盤。



大野先生。研究室では学会での発表も勧めていて、今年も名城大学で9月に開催された応用物理学会に参加。11月や12月には国際会議もあり、数名の学生が参加する予定だそう。



J-SWEETの立ち上げに関わった大学院社会産業理工学研究部理工学域知能情報系知能工学分野 伊藤桃代講師。



J-SWEETを担当する大学院社会産業理工学研究部生物資源産業学域食料科学分野 佐々木千鶴准教授。

J-SWEET参加対象

- 理工系女性研究者間の交流や裾野拡大等の取組に興味のある女子学部学生・大学院生
- 創成科学研究科 / 先端技術科学教育部 / 総合科学教育部(理工系のみ)に所属する大学院生
- 理工学部 / 生物資源産業学部 に所属する学部学生

J-SWEETについてはコチラ！



<https://www.awasapo.tokushima-u.ac.jp/j-sweet/>
1年更新制。途中加入も受け付けています。

今後の活動予定.....

2025年12月14日(日)

親子向けのサイエンス・キャンパスの開催

識の高まりを受け、近年、女性技術者や研究者の受け入れに力を入れる企業が aumentando います。会社訪問や交流会への案内も増え、「女性技術者や研究者の需要の高まりを感じる」という佐々木先生（J-SWEET生物資源産業学部担当）。

しかし理工系分野における女子学生の割合は、20〜30年前とほとんど変わっていません。これは「理工系＝男性社会」という親世代のイメージが子どもの進路選択に大きく影響しているからだと考えられています。

「理数系が得意なら医療系に進学する方がいいという親御さんは

少なくありません。理工系に進んでも様々な仕事があり、研究者として活躍する人もいるということ、女子学生のご家族も含めて知ってもらえるような取組も行っています」。

博士後期課程に進学する女性研究者を増やしたい

親子揃って研究の面白さに触れてもらい、興味や関心を深めてもらおうと、小学生から高校生を対象とした「サイエンス・キャンパス」の企画運営も「J-SWEET」が行っています。

J-SWEETの活動は大きく二つに分かれます。ひとつは「サイエンス・キャンパス」に代表される、地域貢献や次世代育成に関わる取組。もうひとつは、自身の学びやキャリアアビジションの形成を目的としたインプット型の活動です。

インプット型の活動には、「J-SWEET」発足時にモデル校となった大阪公立大学の理系女子大学院生チーム「IRIS」との交流会や、女性技術者・研究者を招いてリアルな働き方を学ぶ「キャリア講演」などがあります。

「こうした活動を通じて将来、博士後期課程へ進学する学生を増

やし、研究の現場に残り続ける人を増やしたい」と語る伊藤先生。キャリアを考える機会の創出やリケジョのネットワークが「研究の道へ進みたいという女子学生の後押しになれば」といいます。

J-SWEETは現在、21名。発足当初から参加しているメンバーの中には博士後期課程の学生も！「彼女は大学在学中に阿南高専の教員にも採用されて、働きながら社会人博士として頑張っている。今後も女子学生のキャリア支援につながる活動を行い、裾野を広げていきたいと思っています」。

世界初、ヒトの骨に入れ替わる炭酸アパタイト 矯正治療や再生医療など、実用化と改良に取り組む

歯学部 教授 栗尾 奈愛（くりお ないと）

約半年で自身の骨に入れ替わる
炭酸アパタイト

世界で初めて骨の主成分である「炭酸アパタイト」の人工合成に成功した徳島大学と九州大学の共同研究チーム。この成果をもとに開発された骨補填材「サイトランス」は、2018年に株式会社ジーシーから販売され、インプラント治療に利用されています。

研究チームのメンバーとして研究に携わった栗尾先生は、現在、サイトランスを臨床の現場で応用しながら、改良に取り組んでいます。

サイトランスは破骨細胞によって吸収され、新しい骨を作る骨芽細胞の働きにより、最終的には自分自身の骨へと置き換わるという特徴があります。

従来の人工骨は、体内に埋め込んでも骨に置き換わることなく、異物として残ってしまうため、感染の原因や合併症のリスクがありました。しかし、サイトランスにはその心配がありません。

インプラントを行うには人工歯根（インプラント体）を顎の骨に埋め込む必要がありますが、歯を

失ってしまうと骨の厚みが減少し、インプラントを安定して埋め込むことができないケースがあります。こうした場合にサイトランスを用いることで約半年で骨が再生し、インプラントを固定できる基盤を作ることが可能になります。

これまで骨が痩せて入れ歯に頼らざるを得なかった人も、インプラント治療を選択できるようになりました。

ブロック状やプレート状に加工し、操作性と安定性を高める

サイトランスは粒状のため、移植部位で形態を保持しにくいという課題もあります。

そのため栗尾先生らのグループは、コーゲンなどを組み合わせ、ブロック状やプレート状に加工し、操作性と安定性を高める改良を進めています。

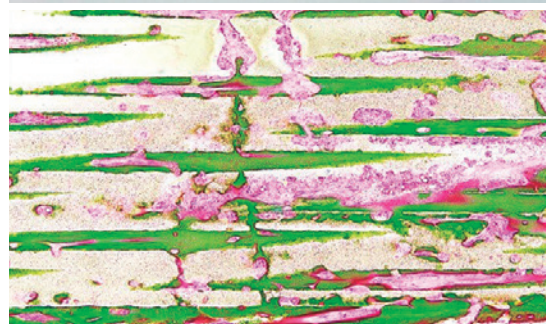
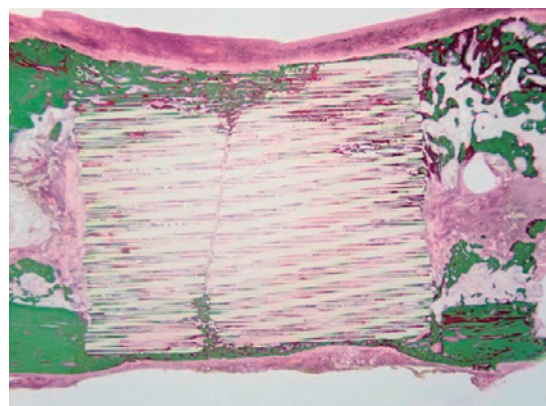
「口腔がなどで顎の骨を欠損した場合、金属プレートや足の骨（腓骨）を移植して再建する治療が行われています。しかし顎の自然な形を再現するのはとても難しいのが現状です。

現在、動物実験では炭酸アパタイト製のブロックを埋入することじの方も多いと思いますが、顎も同じように軟骨がすり減り、口の開閉が難しくなることがあります。

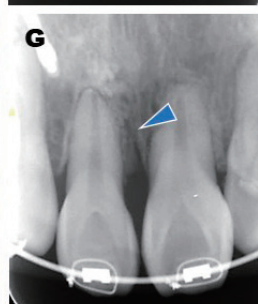
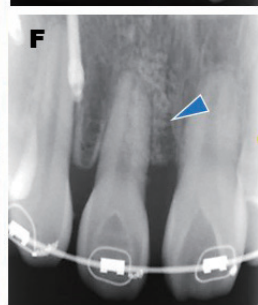
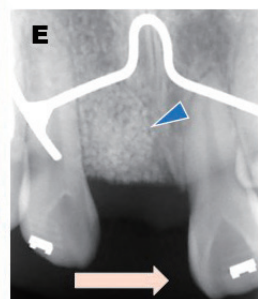
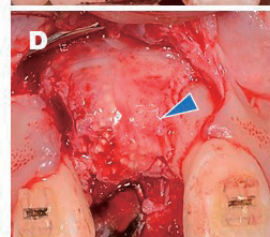
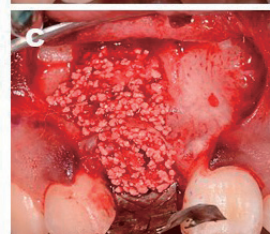
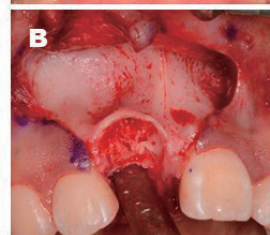
現状は金属で代用されている人工関節を、ブロック状の炭酸アパタイトに軟骨の細胞などを培養し、より生体に近い人工関節を作る試みを進めています。

実用化はまだ先とのことですが、炭酸アパタイトと幹細胞などと組み合わせることで、人の関節に近いものを作り、移植することを目指した研究が進んでいます。

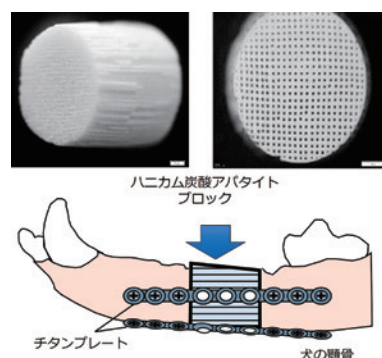
大学病院では口腔がんで大きな手術を行う患者さんも多く、特に歯ぐきに発生したがんは骨に浸潤



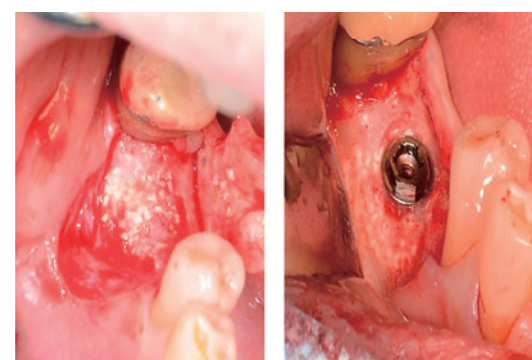
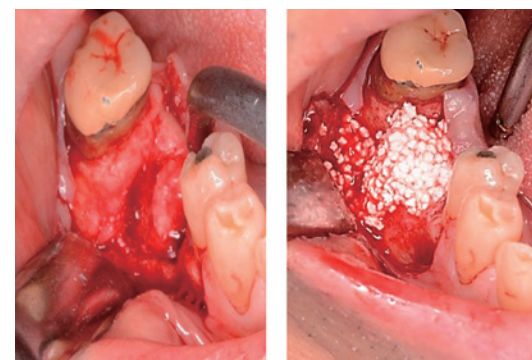
緑色の部分が骨芽細胞。徐々に侵食して、自分の骨に入れ替わります。炭酸アパタイトは骨芽細胞を活性化し、新しい骨の形成を促進する骨伝導性に優れています。



矯正治療への対応例。



犬の顎の骨を一部切り取り、ブロック状の炭酸アパタイトを移植した実験では、半年から1年ほどで自分の骨へと置き換わることを確認されました。



歯が抜けて痩せてしまったところにサイトランスを埋植すると、自身の骨に置き換わって新しい骨を形成し、インプラントの土台を埋め込むことが可能になります。

部活や研究に情熱を注ぎ、有意義な学生生活を送っている様子を取材しました。

常三島キャンパス

「人より勉強して、人より遊んで、人より働こう」と決め、やりたいことを全部やりきった学生生活

大学院創成科学研究科 理工学専攻 博士前期課程 2年 西垣 佑哉（にしがき ゆうや）



西垣さんがアルバイトをしている「OHANA FOOD TRUCK（オハナフードトラック）」。ホットドッグと阿波尾鶏サンドを販売していて、常三島や蔵本キャンパスにも来ています。

大学院で自然言語処理を研究する西垣さんは、修士論文のため、レビューから評価点を予測するシステムを開発しています。例えば楽天トラベルの場合、楽天トラベルを通して宿泊した会員が満足度を5段階で評価し、その平均値が★の数で表示されます。楽天トラベルではコメントを投稿することもでき、★の数やクチコミは他のユーザーが宿泊施設や旅行プランを選ぶ際の参考になり、サービス改善にも役立てられています。現在、西垣さんの研究では3段階評価だと約80%の確率で算出可能。「さらに精度をあげ、将来的にはSNSの投稿からも評価点を算出できるようにしたい」と話します。

修論作成の傍ら、バーやキッチンカー、

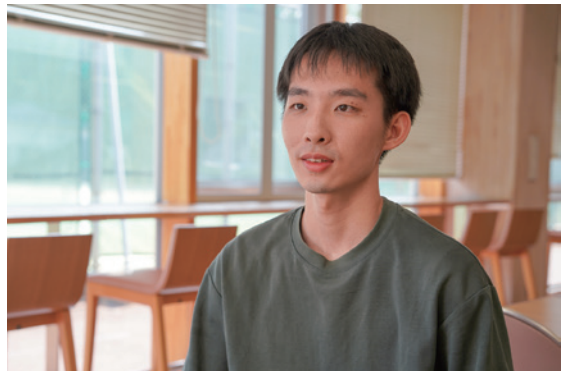
イベントなどでのテント販売のアルバイトも。責任者として売上管理も任されていて、やりがいを感じているといいます。この他、バイクで本州を一周するなど、様々な人と出会い、そのつながりを大切に充実した学生生活を過ごせたという西垣さん。入学当初から「人より勉強して、人より遊んで、人より働こう」と決め、行動した結果と振り返ります。こうした経験をいかし、IT企業のデジタルマーケティングディレクターの内定を獲得。また新たな道を歩み始めます。



蔵本キャンパス

「脳科学クラスター」や「脳科学サークル」にも参加 異分野との共同研究も始まり、研究のおもしろさが加速

大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程 1年 岩本 緋天（いわもと ひてん）



昨年は「第63回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会」に参加。

岩本さんは、神経病態解析学研究室に所属し、パーキンソン病のモデルマウスにおける精神疾患治療薬の薬効について研究を進めています。「薬学部では臨床の機会が少ないため、医学部の脳神経系の先生方が集まる『脳科学クラスター』や、徳島大学病院パーキンソン病・ジストニア治療研究センター副センター長である森垣龍馬先生（医歯薬学研究部先端脳機能研究開発分野 特任教授）が主催する『脳科学サークル』に参加しています。症例に関する話を直接聞けるのは、研究の大きな参考になります」と語ります。

最近では、理工学部 物質機能化学分

野の水口仁志教授との共同研究にも取り組んでいます。「水口先生はもともと脳神経系の専門ではありませんが、共同研究をきっかけに脳科学クラスターに参加されるようになりました。私たちがマウスにマイクロダイアリシスの装置を装着し、脳内のドーパミンなどをリアルタイムで測定する作業を水口先生が担当しています。異分野の研究室と連携できるのは、徳島大学ならではの魅力だと感じています」。現在は、脳科学クラスターでの研究発表に向け、準備を進めているとのこと。「将来的には、国際学会での発表や海外留学にも挑戦してみたい」と、夢を膨らませています。



発表が終わるとすぐさま質問が飛び交い、薬の使用感など細かい点も追及が及びます。

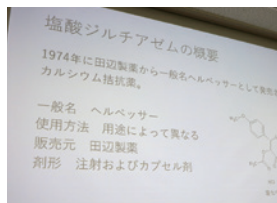
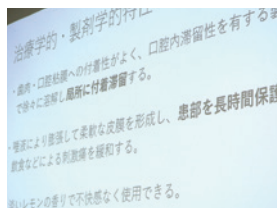


「薬の履歴書」を辿り、成り立ちを知ることによって 実感する研究と基礎科目の重要性

創製薬科学入門 対象：薬学部2年生 薬学部教授 山田 健一（やまだけんいち）

全国にある薬学部の多くは医学部薬学科から派生していますが、徳島大学薬学部は唯一工学部の製薬学科が独立して設立されました。この歴史的背景を踏まえ、「薬を作ることに貢献する」という創立精神を色濃く反映している授業が「創製薬科学入門」です。

授業は薬の成り立ちなどを学生が自ら調べて発表するという形で進みます。薬の成分や作用などの基本的な事柄だけでなく、その薬を誰がどのように開発して社会に普及してきたのかを掘り下げ、いわゆる「薬の履歴書」を紐解くように調査し発表することで、薬の開発に関わった研究者の個性とも密



取材日は興味のある薬を自分たちでピックアップして発表する「自由課題」の回。口内炎の薬「オルテクサー」を取り上げたグループと、アルバイト先で知ったという「塩酸ジルチアゼム」について取り上げたグループが発表しました。

接に結びついていることや、基礎科目の重要性を実感できるようになっています。発表は3人1組で行われ、対象となる薬は抗生物質の「ペニシリン」や高コレステロール血症治療薬の「プラバスタチン」、「新型コロナウイルスワクチン」など回ごとに決まっています。

発表はエントリー制で希望者が多い場合は選抜で決まります。人気のある薬は倍率が高く発表の機会を逃すことも。逆に知名度の低い薬を選ぶと発表のチャンスを得やすいため、どの薬を選ぶかチーム同士の戦略が問われるゲーム性もあります。

評価には内容の深さ・情報の正確さに加え、スライドの見やすさや話し方の工夫といったプレゼンテーション技術も重視されます。発表後は質疑応答が行われ、活発な意見交換によって理解が一層深まります。

授業を担当する山田先生によれば、「この授業は臨床薬学コースと創薬研究コースに分かれる前の導入教育としての役割も担っています。臨床の現場で活躍する薬剤師はイメージできても、新しい薬を生み出す研究がどんな仕事かイメージできない学生が多いようです。臨床と創薬その双方のイメージをもつことが自らの進路を考える土台となります。また、薬学には有機化学、物理化学、生化学など基礎科目の知識が欠かせませんが、難解なうえに臨床科目と比べて退屈と感じる学生もいるようです。それらを学ぶモチベーションを高め、創薬や研究に興味を持つきっかけになればと思います」とのことです。



授業を担当する山田先生。

サークル紹介

医歯薬硬式野球部



年間の活動

4月

春季リーグ戦、新歓

5月

新歓BBQ

7月

確定新歓

8月

オフ

9月

秋季リーグ戦

10月

OB戦

11月

新人戦

12月

追い出しコンパ

1、2月

オフ

3月

名古屋遠征

部活

■

火曜日・木曜日 18:00～20:00、土曜日 9:00～12:00

■

場所：蔵本キャンパスグラウンド

■

Instagram：tokudai_ishiyaku_yakyuu

■

入部方法：InstagramでのDM、練習見学など

キャプテンアピール

キャプテン 小山 征椰（こやま せいや）

医学部 医学科 3年

学科の垣根を越えて学生同士が仲良くなれるのが大きな魅力。先輩・後輩の交流も盛んで、練習のあとは一緒にご飯を食べたり、休日に遊びに出かけたりすることもあります。年に数回、遠征もあり、試合後にその土地を観光するなど、イベント的な楽しみもあり、部員からも好評です。大学生活をより充実させたい人にぴったりの部活です！



Instagram

水泳部



年間の活動

6月

四国地区大学総合体育大会、中国四国学生水泳選手権大会

7月

中国四国学生選手権水泳競技大会兼
中国四国国立大学選手権水泳競技大会

8月

全国国立大学選手権水泳競技大会

9月

日本学生選手権水泳競技大会（競泳）

10月

中国四国学生秋季水泳記録会

3月

中国四国学生春季水泳記録会

部活

■

月曜日 18:00～20:00、水曜日・金曜日
6:30～8:00 OKスイミングスクール山城校
土曜日 8:00～10:00 トビウスイミングスクール

■

X：@tokushimasc
Instagram：tokushima_u_sc

■

入部方法：練習見学、体験練習（Instagram、
XのDMに事前連絡を）

部長アピール

部長 土居原 琢海（どいはら たくみ）

理工学部 理工学科 2年

部員数が増えてきており、更に今年は目標としていた全国国立大学選手権水泳競技大会の団体権を獲得することができました。部員同士高め合える関係で、向上心の強い集団です。選手、マネージャー共にもっと増やしたいので、気軽に練習見学に来てください！



X



Instagram

写真部



年間の活動

4月

新入生歓迎会、撮影会

6月

五月祭写真展

9月

夏合宿

11月

大学祭写真展

3月

卒業写真展、春合宿

部活

■

月2回 月曜日・水曜日 18:00～19:30は共通講義棟で部会
毎月1回の学外フォトウォーク

■

場所：課外活動棟

■

X：@tokushima_photo
Instagram：tokushima_u_photo

■

入部方法：SNSでのDM、部会の参加等

部長アピール

部長 廣瀬 楓真（ひろせ ふうま）

総合科学部 社会総合科学科 3年

私たちは、部員55名で活動しております。写真部では、フォトウォークや部会、合宿、写真展などの活動を行っています。これらの活動の中で部員と交流しながら写真の技術を楽しく学ぶことができます！カメラを持っていない人も、上級者も入部大歓迎です！少しでも写真に興味がある人は連絡お待ちしております！



X



Instagram

バドミントン部



年間の活動

4月

中四国学生バドミントンリーグ戦、徳島市市長杯

5月

徳島県会長杯、新歓

6月

徳島県学生選手権、中四国インカレ

7月

徳島四大学交流団体戦

8月

四国総合予選大会、夏合宿、OB会

9月

四国国立四大学定期戦、徳島市会長杯

10月

徳島県総合大会

11月

徳島四大学交流個人戦、香川大学定期戦

12月

打ち納め

1月

徳島市選手権、愛媛大学定期戦

2月

中四国国立大学交流戦

3月

高知大学定期戦

部活

■

正規練／火曜日 16:30～19:00、木曜日 18:00～21:00、
土曜日 17:00～21:00
自主練／日曜日 15:00～19:00

■

場所：常三島第一体育場、玄関側

■

Instagram：tokudai_badminton

■

入部方法：部活の練習見学及び新歓の参加

部長アピール

部長 齊藤 優空（さいとう ゆたか）

理工学部 理工学科 2年

私たちバドミントン部は、試合での勝利を目指して週3回の練習に励んでいます。練習では基礎から実戦形式まで丁寧に取り組み、学年を問わず仲間と切磋琢磨しています。やるときは全力で、楽しむときはしっかり楽しむ、そんなメリハリのある部活です。ぜひ見学に来てください！



Instagram

令和6年度財務諸表が文部科学大臣の承認を受けました。徳島大学は本学を支えてくださる国民の皆様方に透明性のある財務状況を提供しご理解をいただくことが重要な責務の一つと考えております。

令和6年度財務レポートは、令和6年度財務諸表をもとに作成しており本学の運営状況及び財務状態をお伝えします。

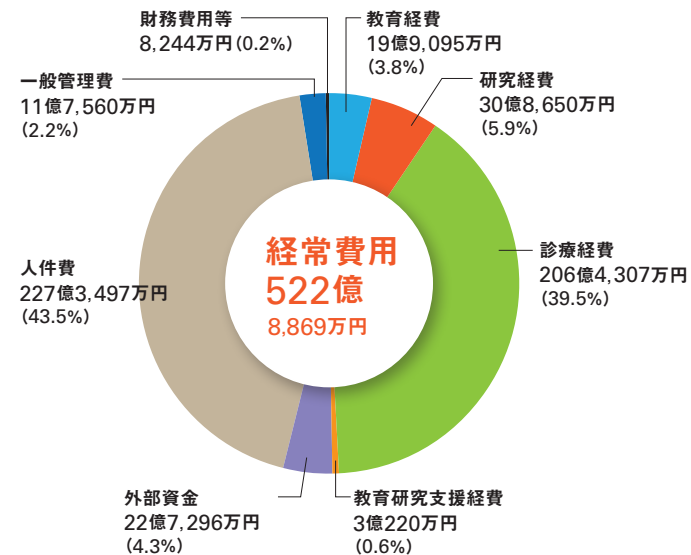


財務情報の
詳細

令和6年度 損益計算書の概要

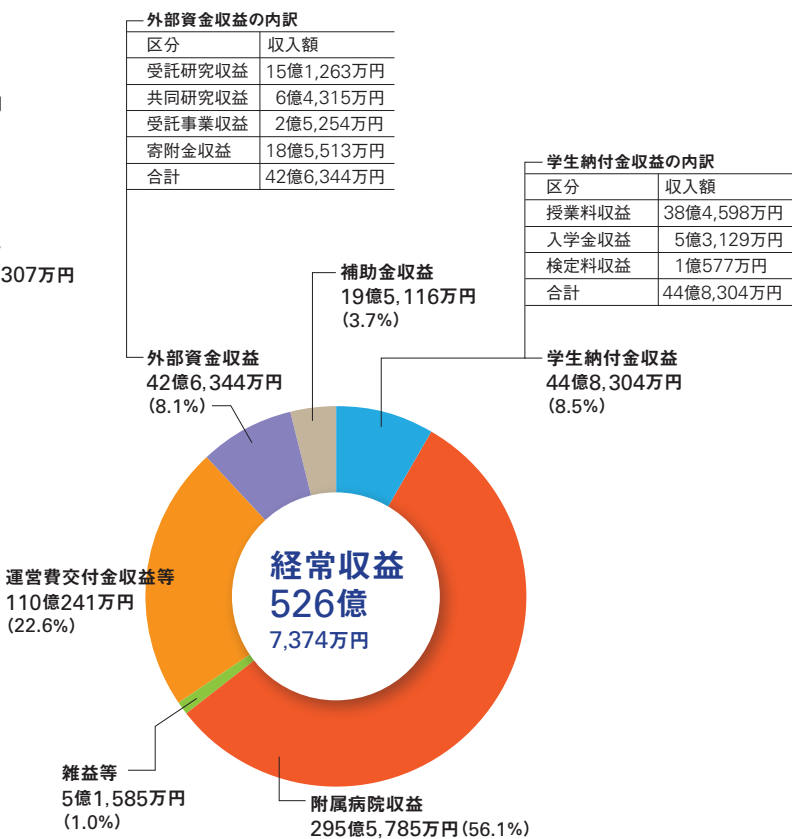
損益計算書は、事業年度内に徳島大学が実施した事業等により発生した全ての費用と収益を記載することによりその運営状況を明らかにしています。

経常費用の内訳



※単位未満を四捨五入しているため、必ずしも計は一致しません。

経常収益の内訳



経常費用は、前年度から9,430万円増の522億8,869万円となりました。人件費の上昇及び物価の上昇により、前年度から人件費が3億6,384万円の増、診療経費が1億5,409万円の増となりました。一方、前年度から外部資金の受入額が減少したことに伴い、外部資金の支出額が1億3,049万円の減となりました。

経常収益は、前年度から1億8,518万円減の526億7,374万円となりました。病床稼働率の増加により前年度から附属病院収益が9億742万円の増となりました。一方、前年度から外部資金の受入額が減少したことに伴い、外部資金収益が3億3,311万円の減となりました。

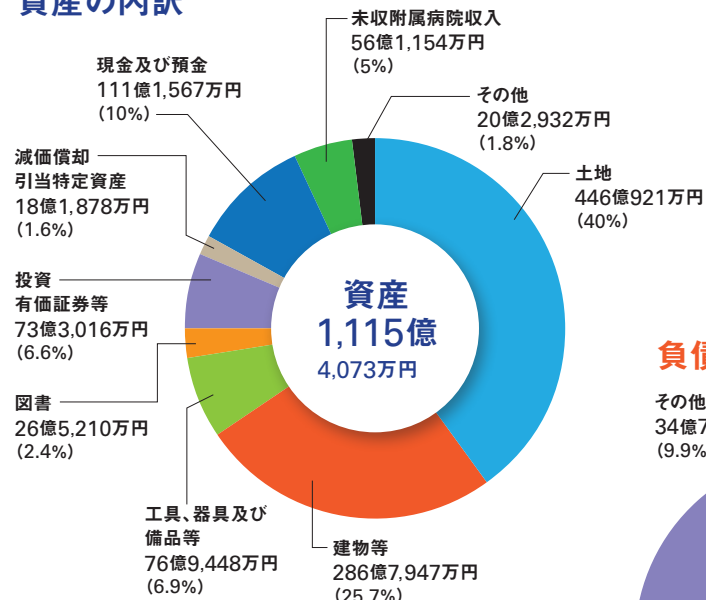
経常利益は前年度から2億7,948万円減の3億8,505万円となりました。経常利益から、臨時利益、臨時損失を加減算し目的積立金取崩額を加算した当期総利益は3億8,420万円となりました。

令和6年度財務レポート ～透明性のある財政・運営～

令和6年度 貸借対照表の概要

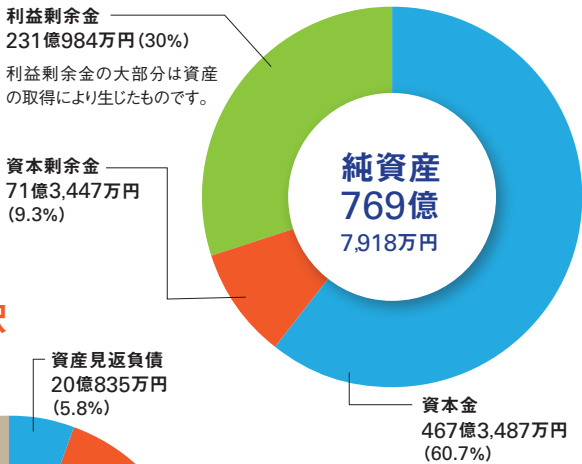
貸借対照表は、決算日(令和7年3月31日)における徳島大学の全ての資産、負債、純資産を記載することによりその財務状態を明らかにすることを目的としています。

資産の内訳

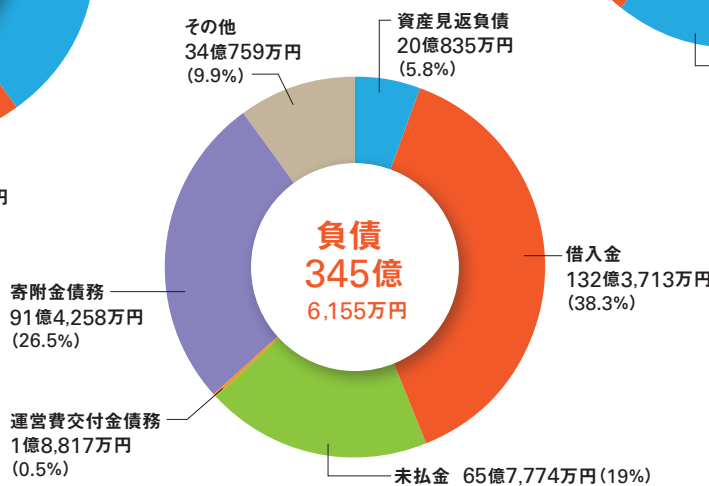


※単位未満を四捨五入しているため、必ずしも計は一致しません。

純資産の内訳



負債の内訳

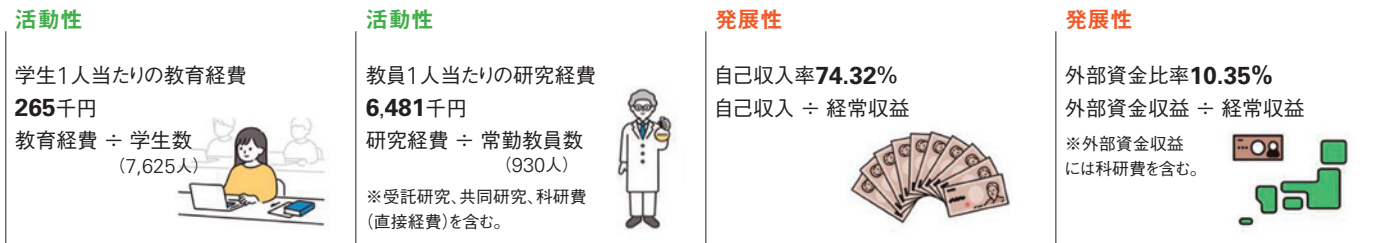


資産は、前年度から22億8,256万円減の1,115億4,073万円となりました。減価償却の進行(資産の老朽化)により、前年度から建物が16億5,224万円の減、工具、器具及び備品等が2億9,813万円の減となりました。

負債は、前年度から18億2,020万円減の345億6,155万円となりました。借入金・リースの支払いが進行したことにより、前年度から借入金が8億1,190万円の減、未払金が13億1,760万円の減となりました。

純資産は、前年度から4億6,236万円減の769億7,918万円となりました。資産同様、減価償却の進行(資産の老朽化)により、前年度から資本剰余金が6億2,951万円の減となりました。

徳島大学の財務指標



本学と同規模大学の財務指標の比較分析を各大学の財務諸表が公開されてから実施します。これにより、本学の状況をよりわかりやすく示すことができます。比較分析結果は本学ホームページで10月以降に掲載します。



短期的な負債に対する現金等の割合。短期的な支払能力や安全性の指標。数値が高い方(120%以上)が望ましい。

総資本に占める他人資本の割合。返済能力や安全性の指標。数値が低い方(100%以下)が望ましい。

自己資本に対する固定資産の割合。長期的な安全性を図る指標。数値が低い方(100%以下)が望ましいが、本学は病院の施設等の整備で借入金を活用しているため、100%を超えています。しかし、借入金は計画的長期的に返済しております。

総資本のうち自己資本が占める割合。財政状況の安全性や健全性を図る指標。数値が高い方(50%以上)が望ましい。

ガレリア新蔵展示室 第36回・第37回企画展のご案内

第36回企画展

くらべて楽しむ

阿波の大相撲浮世絵展

2025年10月19日(日)まで

浮世絵ブームの昨今に鑑み、江戸時代中頃～明治時代の阿波徳島関連力士や同時代の力士に関する相撲浮世絵を中心とした研究資料200点以上(絵師30名以上)を、展示しており、多くの来場者にご好評をいただいております。開催終了が近づいておりますが、ぜひお越しください。

第37回企画展

大学の遺跡からみた徳島の歴史

弥生集落と近世武家屋敷を中心に

2025年11月4日(火)～2026年2月27日(金)

徳島大学の蔵本・常三島・新蔵の3キャンパスは、遺跡の上に立地しており、これまでの発掘調査において多くの発見がありました。

蔵本キャンパスでは弥生時代の農耕集落跡、常三島・新蔵キャンパスでは近世徳島藩の武家屋敷跡などに関係する文化財が多数確認され、考古学・歴史学などの学会に大きく貢献してきました。今回は、本学埋蔵文化財調査室がこれまでにを行った調査研究成果について、

弥生時代の集落と近世武家屋敷に焦点をあてて、ご紹介いたします。この機会にぜひご来場ください。



【展示会場】徳島大学ガレリア新蔵展示室 徳島市新蔵町二丁目24番地 日亜会館1階

【開館時間】9時～17時 【休館日】2025年12月27日(土)～2026年1月4日(日)

【問い合わせ】徳島大学法人運営部総務課広報室 TEL: 088-656-7646 E-mail: kohokakari@tokushima-u.ac.jp

Tokudai NEWS 徳大ニュース

株式会社日産サテイト徳島、スカイレンタカー四国株式会社、スカイモビリティサービス株式会社、株式会社スマートバリューと連携に関する包括協定を締結



2025年8月1日、本学は、株式会社日産サテイト徳島、スカイレンタカー四国株式会社、スカイモビリティサービス株式会社及び株式会社スマートバリューと連携に関する包括協定を締結しました。

〔連携・協力事項〕
①地域産業の振興及び地域の活性化に関すること。
②モビリティによる大学の利便性向上に関すること。
③地域人材の育成及び県内定着の促進に関すること。

④防災・災害対策に関すること。
⑤その他徳島県の地方創生推進に資する取組に関すること。

本協定により、相互における連携を強化し、それぞれが持つ人的・物的資源やノウハウを活用し、豊かな地域社会を構築すること、徳島県の地方創生の推進に寄与することができるよう努めて参ります。

全国第1位！生物資源産業学部学生がラジオCMコンテストで最優秀賞受賞

生物資源産業学部4年の長谷川虎太郎さんが「JFNラジオCMコンテスト2025」において最優秀賞を受賞しました。

本コンテストは全国の大学院生・大学生・短大生・専門学校生・高等専門学校生が、自身の通う学校をPRするラジオCMコピーを自由に作成し、その発想力、表現力を競うものです。最終選考において長谷川さんの作品は見事、第一席の最優秀賞(1作品)を受賞しました。

今回、最優秀賞を受賞した長谷川さん作成の生物資源産業学部をテーマにしたCMは、JFNラジオCMコンテストのウェブページでも公開されています。

ミムラテコウ

アイツ
真面目は見えない
見えないアイツを
—— 宿らせろ

油圧シリンダ専門メーカー



建機用ジャッキシリンダ

シリンダ内径 | 130mm 使用圧力 | 20.6MPa
ロッド外径 | 100mm 最高出力 | 伸び側274KN
ストローク | 590mm | 縮み側77KN

会社見学&
インターンシップ
受付中!!



オリジナル短編動画
「ミムラテコウ」
スペシャルサイト



MIMURA
TRAINING STORY
ものづくりの出発点



オリジナル短編動画
「ミムラテコウ」
誕生秘話



当社は香川県さぬき市で『油圧シリンダ』を専門に作っている会社です



三村鉄工株式会社

〒769-2105 香川県さぬき市末371番地6
TEL:087-894-7788(代)

YouTube



Website



1DAY仕事体験・工場見学～
5DAY以上のインターンシップまで、
通年で受付中!学業の都合に合わせてお申し込みください!

インターンシップ
受付はこちら
マイナビ2027



人と産業の快適環境を創造す



徳島県徳島市川内町平石流通団地29番地

Tel : 088-665-3400 / Fax : 088-665-5580

会社HP



Instagram



身近なところで NICHIA の

製品は活躍しています

日亜化学工業株式会社

徳島県阿南市上中町岡 491 番地
TEL:0884-22-2311



会社 HP